



総合戦略

I ー 基本的な考え方

国 が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則等を基に、福智町における人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指す。

福 智町に住む人々が、自らの地域の未来に希望を持ち、個性豊かで潤いのある生活を送ることができる地域社会を形成するため、人口、経済、地域社会の課題に対して一体的に取り組むことにより、将来にわたって存続することができる、福智町を築き上げていく。

1 人口減少と地域経済縮小の克服

福 智町の人口は、昭和35年の4万人をピークに減少を続けている。加えて、福智町と都市圏の経済格差拡大等が、若い世代の福智町からの流出と、都市圏および東京圏への一極集中を招いている。今後、これらの課題への対策を講じないままでは、福智町の若い世代が都市部に流出することにより、さらなる少子高齢化が進み、人口減少に拍車をかけ、町の活力が失われていく。

福 智町の人口減少は、消費市場の規模縮小だけでなく、町勢の低下と景気低迷を生み出している。こうした、地域経済の縮小は、福智町の生産力と住民の経済力低下につながり、高齢化の進展もあいまって、地域社会の様々な基盤の維持を困難としている。

こ のように、福智町は「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負の悪循環の連鎖に陥っている。そのため、人口減少を克服し、福智町の創生を成し遂げるためにも、以下の基本的視点で、人口、経済、地域社会の課題に対し、一体的に取り組むことが何よりも重要である。

① 都市部への人口流出の流れを変える

福智町からの人口流出に歯止めをかけ、「都市部への集中」と「東京一極集中」を是正するため、「しごとの創生」と「ひとの創生」の好循環を実現し、快適かつ安全な環境を実現する。

② 若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する

人口減少を克服するため、若い世代が安心して就労し、希望どおり結婚・出産・子育てをすることができる社会経済環境を実現する。

③ 地域の特性に即して地域課題を解決する

人口減少に伴う地域の変化に柔軟に対応し、地域が直面する課題を解決し、安心して心豊かな生活が将来にわたって実現できるようにする。